

流 山 市 旧 清 美 園

焼 却 施 設 解 体 ・ 撤 去 工 事

旧清美園の老朽化しているし尿処理施設の再整備事業として、
廃止している旧焼却施設の解体・撤去工事を行うものです。

工事施工にあたりましては、関係法令に基づき、周辺地域にお
住まいの皆様のご生活環境に配慮するとともに、安全に万全を期し
て行います。



平成20年 2月

流山市 環境部 リサイクル推進課



鹿島建設 株式会社

1 工事の目的

旧清美園の老朽化しているし尿処理施設の再整備事業として、廃止している旧焼却施設の解体・撤去を行い、その跡地に有機性廃棄物リサイクル推進施設として、剪定枝と浄化槽汚泥、し尿等を併せて処理する「汚泥再生処理センター」を建設することを目的とし、焼却施設の解体・撤去工事を行うものです。

この焼却施設は昭和56年に稼動し、クリーンセンターの新焼却施設が稼動開始した平成15年までの22年間稼動しておりましたが、老朽化が著しく、早期の解体・撤去を行う必要がありましたことから、国の循環型社会形成推進交付金を活用して解体・撤去工事を行うこととなりました。

工事施工にあたりましては、関係法令に基づき、周辺地域にお住まいの皆様の生活環境に配慮するとともに、安全に万全を期して行ってまいります。

2 工事の概要

工事名称：流山市旧清美園焼却施設解体・撤去工事
工事場所：流山市このす台地先
工 期：2007年12月18日～2008年11月30日（予定）
発注者：流山市
施工者：鹿島建設株式会社
工事対象物：焼却施設ストーカー炉 140t、煙突 高さ59m

3 工事の工程表

工種	年 月	平成20年									
		2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
仮囲い工・仮設事務所		■									
仮設足場工			■	■							
ダ イオキシ ン類飛散防止工			■								
除染工			■	■	■	■	■				
機器解体工						■	■				
建屋解体工			■	■	■	■	■	■	■	■	■
煙突解体工				■	■	■	■				
土工事							■	■		■	■
周辺環境調査			■	■	■	■	■	■	■	■	■

4 連絡先

発注者 流山市（環境部 リサイクル推進課 資源循環型施設整備室）
電 話 04-7157-8250

施工者 鹿島建設株式会社 流山市旧清美園工事事務所
担 当 松本、木村、中田
電 話 04-7156-6756

5 工事の基本方針

- (1) ダイオキシン類について
 - ・周辺環境への汚染防止
 - ・作業員の曝露防止
- (2) 騒音・振動・粉塵について
 - ・騒音・振動の低減及び粉塵抑制を図る
- (3) 交通安全について
 - ・歩行者及び一般車両への安全確保

法令を遵守することはもとより、周辺住民の皆様へ十分配慮し、施工致します

6 作業要領

(1) 作業時間及び休日

原則として作業時間は午前8:30～午後5:30までとし、休日は毎週土曜日、日曜日及び祝日と致します。

また、工事はダイオキシンの特別教育を受けた専門スタッフが作業を行い、安全な工事を行います。

(2) 汚染防止対策

建屋及び煙突の密閉養生と各種専門装置及び機器の設置をはじめとして曝露防止・飛散防止対策を講じるため、外部へのダイオキシン類の飛散及び流出はありません。

(8 ダイオキシン類の汚染防止対策 参照)

(3) 騒音振動の低減

工事の施工に際しては、現場に応じた工法と優れた技術で、低騒音・低振動タイプの重機を使用して施工しますので、近隣の皆様に影響が生じないよういたします。

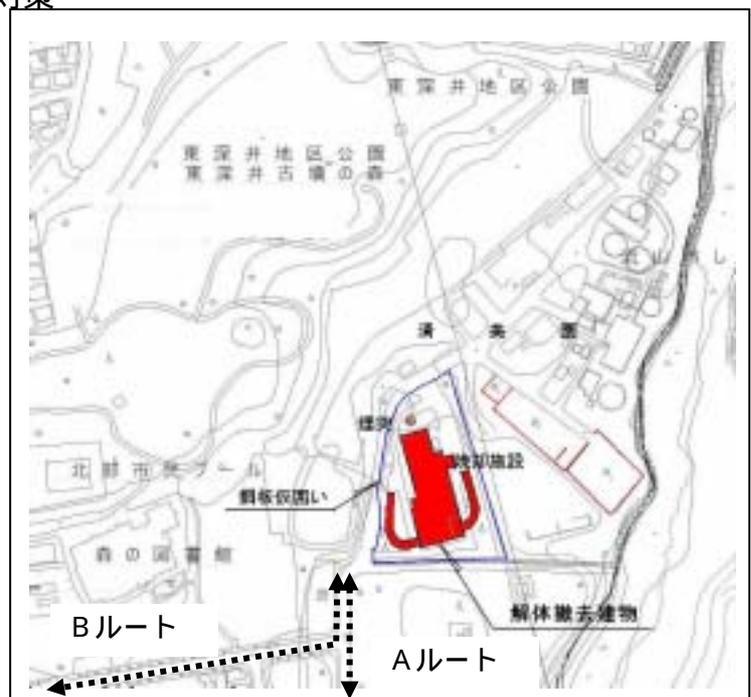
(4) 工事車両の通行及び交通安全対策

工事車両の出入りについては、交通誘導員を配置し、歩行者及び交通車両の安全確保に努めます。

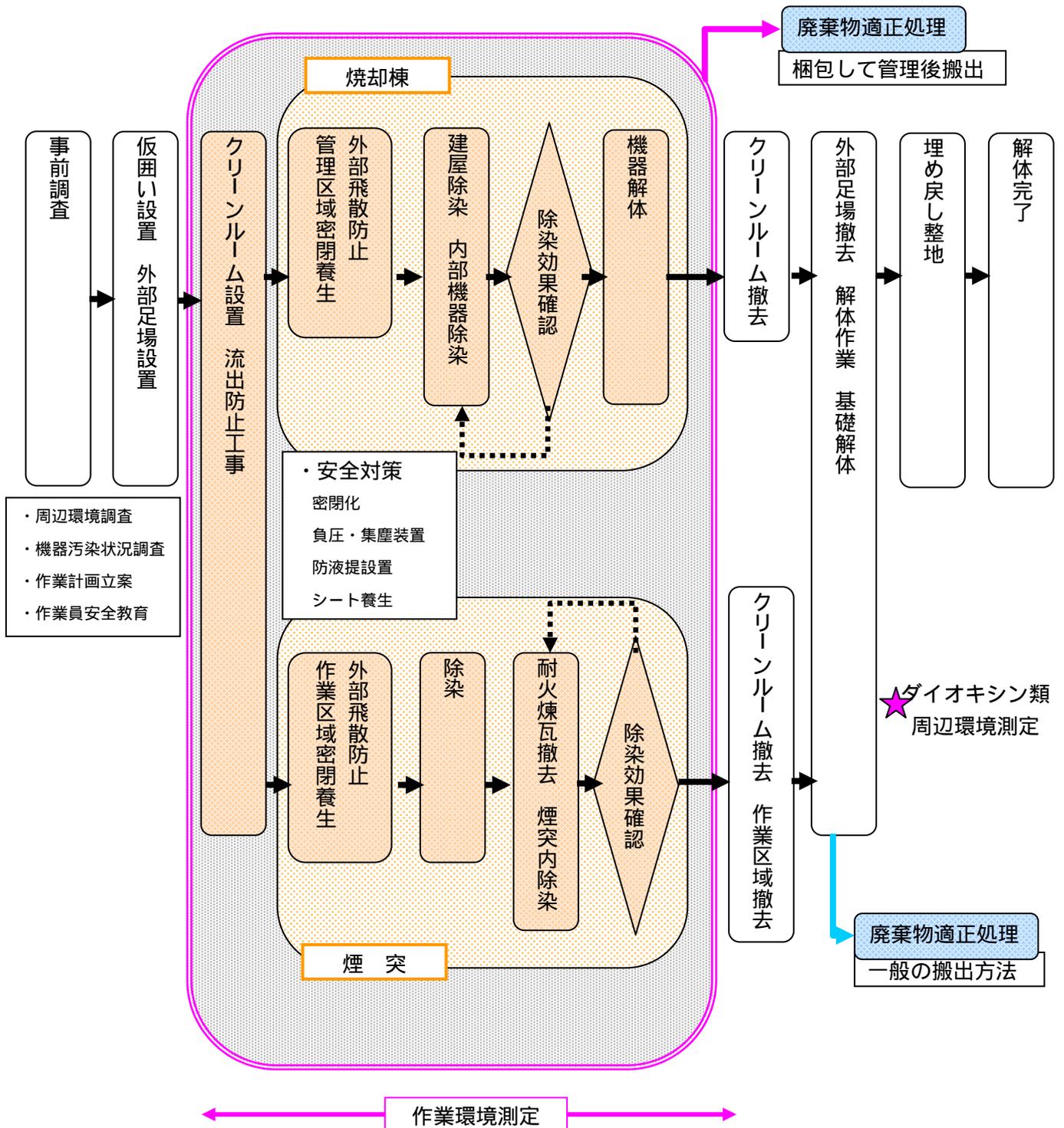
通行速度については、制限速度以内の低速で走行し、特に坂道等については、振動が出ないように十分注意を払うなどして騒音・振動の低減に努めるとともに、積載物からの粉塵等の飛散防止をします。

(5) 現場周囲

現場周囲は鋼製仮囲い等を設置し、工事現場を仕切ることで第三者の安全を確保します。



7 工事（除去作業等）の作業手順



 : 汚染区域内での作業を示す

8 ダイオキシン類の汚染防止対策

(1) 建屋密閉養生

建屋開口部（窓、ドア、換気口等）や隙間を発泡ウレタンや、専用のテープで塞ぎ内部の空気が外部に漏れないように内外から密閉養生を行うとともに、ダイオキシン類の汚染状況に応じた区画を設置します。

また、負圧・集じん装置で空気を引っ張ることにより作業領域内を負圧状態にするため汚染物が外部に飛散しません。建屋自体を密閉化構造とするため、強風等により汚染物が外部に飛散することはありません。

なお、外部に足場をかけ、シートで養生します。これは窓や換気口等の開口部養生の日常点検や、汚染物が撤去された後の解体工事時の飛散防止用として設置するものです。



建屋密閉養生状況（イメージ写真）



建屋密閉養生状況（イメージ写真）

(2) 煙突密閉養生

煙突の上部を塞ぎ、下部に密閉養生された作業エリアを設置して、煙突内部の空気を負圧・集じん装置で空気を引っ張ることにより作業領域内を負圧状態にするため汚染物が外部に飛散しません。

また外部に足場をかけ、シートで養生して汚染物が撤去された後の解体工事時の飛散防止用として設置するものです。



煙突外部養生状況（イメージ写真）

(3) クリーンルーム

汚染物除去完了までの作業員の専用出入口でクリーンルーム内に設置した、エアシャワー及び足洗浄マットにて着衣等に付着したダイオキシン類汚染物を除去すると同時に、保護衣等をクリーンルーム内で廃棄処分して汚染物が外部へ持ち出されることはありません。



クリーンルーム外観（イメージ写真）



エアシャワー例（イメージ写真）

(4) 防液提及び環境調査

洗浄水の回収及び外部への漏水防止対策として床には防液堤を設置し、さらに周辺への汚染を防ぐために作業状態の測定も適時行います。



防液提施工例 (イメージ写真)



環境調査実施状況 (イメージ写真)

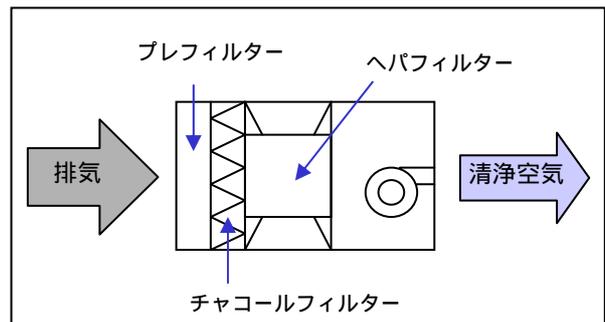
(5) 負圧・集塵装置

作業エリア内は、負圧・集塵装置で吸引することにより、気圧を低く抑えて負圧化します。

ダイオキシン類による汚染された内部の空気は、高性能のフィルターを有する負圧・集塵装置で浄化するため、外部に飛散・流出しません。



負圧・集塵装置 (イメージ写真)



負圧・集塵システム (システム図)

(6) 水処理装置

解体する建物や設備は解体前に高圧水により洗浄し、残存物やダイオキシン類付着物等を除去します。

汚染物の除染に使用する洗浄水は、場内に水処理装置(プラント)を設置し、循環再利用するので、洗浄水の河川放流は行いません。



水処理装置 (イメージ写真)



洗浄水の処理状況 (イメージ写真)

(7) ダイオキシン類汚染物除去作業

人力による直接洗浄と機械による遠隔操作洗浄を併用し、ダイオキシン類汚染物の除去が確実に行われたことを確認してから建物や機器の解体を実施します。



直接洗浄状況 (イメージ写真)



遠隔操作による煙突洗浄 (イメージ写真)

9 工事車両について

工事現場 (旧清美園) への搬入搬出のルートは、下図のとおりとし、生活道路等への進入はしません。



この両方のルートを使用し、一方のルートに偏らないよう通行します。

月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
台数 (1日)	2	6	7	7	8	6	4	3	2	2

大型車両搬出台数計画表

1日あたりの計画台数であるため、現場状況等により台数は変動することがあります。

車両の通行にあたっては、周辺住民の皆様の通勤、通学時間帯を考慮し通行します。

また、通行速度については、制限速度以内の低速で走行し、特に坂道については、振動が出ないように十分注意を払うなどして騒音・振動の低減に努めるとともに、積載物から粉塵等の飛散防止します。

なお、現場周辺道路に工事用車両が長時間停車しないようにします。

10 解体に伴う廃棄物の処理計画

解体に伴う廃棄物（撤去物）のうち、リサイクル可能なものは、再資源化施設（スクラップ業者等）へ搬出し、リサイクルすることを原則とします。

リサイクル不可能なものは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき適切な処分を行います。

（1）廃棄物保管方法

汚泥、耐火物煉瓦等のダイオキシン類を含む特別管理廃棄物の保管については、プラスチック袋等に2重で梱包し、更に防水型フレコンバッグに入れ厳重に保管します。

また、保管場所についてはシートで養生を行いますので、地下等に汚染物の流出はありません。



保管場所（イメージ写真）



保管状況（イメージ写真）

（2）搬出方法

ダイオキシン類を含む特別管理廃棄物等について

廃棄物を搬出する車両については、上及び右のイメージ写真のように、保管した状態（2重梱包の上防水型フレコンバック封入）で積載し、シートで覆って処分場まで運搬いたしますので、汚染物の飛散などはありません。



特別管理廃棄物搬出状況（イメージ写真）

鋼材・コンクリート等について

鋼材やコンクリートガラ等は有害物の除去を確認したうえで搬出します。

運搬にあたっては、積載量を厳守し、サイドウイングにて飛散、落下防止を行います。



工事にあたっては、周辺地域にお住まいの皆様のご生活環境に配慮し、安全かつ慎重に進めてまいります。

周辺の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成20年2月

発注者：流山市

施工者：鹿島建設株式会社